

## 建設統計調査感謝状伝達式

# 大宝建設株と三浦造船株が受賞

2017年度の建設統計調査感謝状伝達式が20日、県庁の土木部長室で行われた。本年度は県内から大宝建設株（柴田久直社長）と三浦造船株（三浦幸浩社長）が受賞し、岩見洋一郎長が国土交通大臣からの感謝状を伝達した。併せて、土木部長からの記念品として「左馬」のハタ（凧）を手渡した。岩見部長は感謝状を伝達した2

社に対し、「皆様からの調査結果は、建設業のさまざまな施策を検討する際の基礎データになると聞いている」と、建設工事受注動態統計と建設工事施工統計の両調査に毎年協力していることを感謝した。また、記念品のハタについて、「馬の漢字を反対に書いた左馬は「まう（舞う）」と読み、縁起の良い招福文字です」と説明。両社

の一層の発展を祈念した。

その後の土木部幹部との意見交換で柴田社長は、離島の現場にも女性が従事しはじめていることに触れ「心配りができ、作業効率があがる。現場も明るくなる」と述べ、今後も女性が活躍できる環境づくりに取り組み「明るい話題を提供していきたい」と述べた。

このほか土木部側が、今後の鋼橋ストックの維持管理を見据え、栈橋などを製造・架設できる地場（造船）業者向けに陸上鋼橋（側道橋など）の上部工を発注していく考えを説明（6月には島原ドック協業組合が受注）。三浦造船にも入札参加を期待した。

▲土木部長らと共に表彰状を持つ柴田社長（中央左）と三浦社長（右）

